

指定外来種の追加指定

分類群 (選定種数)	和名 (科名)	滋賀県外来種リスト カテゴリー	該当する条件
植 物 (2種)	トゲデシヤ (トゲチシヤ) (キク科)	中影響外来種	I : 道路や草地に生育し、葉や茎の裏面の主脈にはトゲがある。県内においても侵入が確認されている。市街地の在来植物を基盤とする植生への影響と、トゲによる人体や家畜への被害が危惧される。
	メリケントキンソウ (キク科)	中影響外来種	I : 公園など地肌が見える明るい場所で生育し、トゲのある種子を形成する。県内においても侵入が確認されている。トゲによる人体や家畜への被害が危惧される。
貝 類 (3種)	ヒメリングマイマイ (マイマイ科)	侵入警戒外来種	II : 国内では大阪府、千葉県、茨城県などに定着しており、乾燥耐性が非常に強く、海外では農業被害を及ぼしている。滋賀県でも早期警戒が必要。
	マダラコウラナメクジ (コウラナメクジ科)	侵入警戒外来種	II : 国内では茨城県、島根県、長野県、埼玉県などに定着しており、体長15cmに達する超大型のナメクジであり、海外では農業被害を及ぼしている。また、在来種に悪影響を及ぼすおそれがある。滋賀県でも早期警戒が必要。
	オオクビキレガイ (オカチョウジガイ科(オカクチキレガイ科))	侵入警戒外来種	II : 国内では九州北部や京阪神などに定着しており、乾燥に強く畑地で増殖が可能であり、農業被害や在来種への影響が危惧される。滋賀県でも早期警戒が必要。
甲殻類 (1種類)	カワリヌマエビ属(ミナミヌマエビの滋賀県個体群を除く。) (ヌマエビ科)	強影響外来種	I・II : 本種は、水槽や池で餌として飼育されていたり栽培されていた水草に付着していたものが野外に捨てられ、野生化した可能性が高い。在来のヌマエビとよく似た生息場所に生息することから、在来種への影響が懸念される。
合計 6種類 (植物 : 2種 動物 : 3種類)			